

# J A 全農ちば 営農情報集 (6月号)

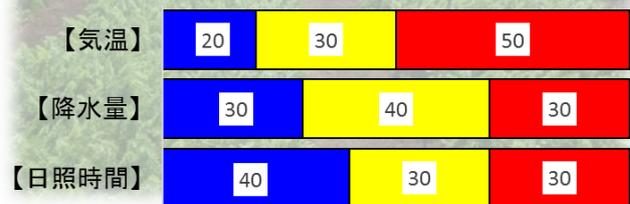
## 今月の情報

- ① 水稲・当面の対策について
- ② 園芸野菜 病害虫防除情報
- ③ 果樹(ナシ) 病害虫防除情報
- ④ 12月～1月収穫向け寒玉キャベツ 品種比較試験結果
- ⑤ 安全な農作物生産の取り組みについて  
☆食中毒に気を付けましょう・手洗いについて☆
- ⑥ ミヤコバンカー新規格 50パックについて(イチゴハダニ類防除)

## 6月の気象について (気象庁 5/27 発表 長期予報 (1か月) から)

① 気温は平年並み～高めの予報です。  
降水量・日照時間は概ね平年並みですが  
施設では温度管理に注意ください

② 梅雨時期を迎えますので、今後の天候の  
変化に注意しましょう。



凡例: ■低い ■平年並 ■高い

(長期予報 (1か月) は毎週木曜日に発表されます。週予報とともに確認し、今後の栽培管理の計画を立てましょう)

令和3年6月

J A 全農ちば 営農支援部

記載の農薬登録は作成時点のものです。農薬使用時は最新登録内容を確認し使用しましょう。

営農技術情報集のカラー版や、その他の営農情報は全農ちばHP内営農情報コーナーにて公開中！  
全農ちばHP <<http://www.cb.zennoh.or.jp/index2.html>>

# 水稲・当面の対策について

J A全農ちば  
営農支援部

## 1. はじめに

移植後の生育は、「やや遅れ～停滞気味」で推移しています。4月中旬以降は強風・低温・日照不足の影響が出ている圃場が散見されます。

6月の気温は平年並み～やや高くなると見込まれていますので、生育ステージを確認し、作業が遅れないよう注意しましょう。

## 2. 近年の高温障害対策に！

### ～中間追肥：けい酸加里の使用について～

- (1) 効果：けい酸と加里が同時に吸収されることにより、根の活力が高まり登熟向上につながります。また、受光体勢が良くなるので、光合成を促進させる効果もあります。
- (2) 施用時期：中干し直前（田植後35～45日）
- (3) 施用量：20～40kg／10a

**高品質な米作りのお手伝い**

近年、極端な猛暑や日照不足などの異常気象が頻発しています。けい酸加里によって根や葉を丈夫に育て異常気象に負けない丈夫なイネ作りをしましょう。

保証成分 (%)				含有成分 (%)	
<溶性>加里	<可溶性>けい酸	<溶性>苦土	<溶性>ほう素	石灰	鉄
20	34	4	0.1	7~12	2~5

異常気象に強い、乳白粒軽減、密れにくい、丈夫！、実入りがいい、根ばりバツグン、ケイ酸、水分、カリ、養分

供給 JAグループ 製造 開発肥料株式会社 <http://www.jpsik.com>

## 3. 分けつ数をチェックして中干しを実施しましょう

中干しが出来ず、湛水状態を続けると酸素不足によって、土壌の還元化が進んで根が老化し、幼穂形成期以降の登熟期間の養分吸収が悪くなります。

根が老化するとケイ酸、リン酸、加里などの吸収が抑制されるので、稲の体が軟弱気味になります。

「中干し」の効果は...

- ・無効分げつの抑制と下位節間の伸長を抑え、倒伏しにくい稲にします。
- ・土壌中に酸素を供給し、根を活性化させます。
- ・機械作業に適した土壌硬度を確保します。

茎数が確保された圃場では速やかに「中干し」を実施しましょう。特にコシヒカリは倒伏防止のために遅れずに実施しましょう。

表1 品種別の中干し開始の目安

品 種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)		440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)		
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup> (18本/株)	310本/m <sup>2</sup> (17本/株)	300本/m <sup>2</sup> (16本/株)
	5月 1日			
粒すけ	4月20日	460本/m <sup>2</sup> (25本/株)	420本/m <sup>2</sup> (23本/株)	

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たりの茎数の目安

※疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります。

## 4. 「ふさおとめ」「ふさこがね」は幼穂のチェック！

### ～穂肥の遅れに注意～

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月中旬頃から幼穂形成期を迎えます。穂肥の適期は幼穂形成期（出穂前25日）～出穂前18日（幼穂長1mm～10mm）です。「ふさおとめ」は穂肥が遅れると玄米中のタンパク割合が増加し、食味の低下を招くので注意が必要です。また、「ふさこがね」の穂肥適期は出穂前18日（幼穂長10mm）です。どちらも適期施用を心がけましょう。穂肥の際は、「化成肥料17-0-17」等の速効性肥料を施用しましょう。

表2 品種別の幼穂形成期での生育目標と穂肥の施用適期(栽植密度18.5株/m<sup>2</sup>)

品 種	草 丈 (cm)	茎 数			葉色 (SPAD 値)	出穂前日数 (幼穂長)
		砂質	壤質	粘質		
ふさおとめ	55以下	570～620 (31～34本)		520～570 (29～31本)	4.0 (35～38)	出穂前25日 ～出穂前18日 (1mm～10mm)
ふさこがね	60～ 65以下	450～500 (25～27本/株)			5.0 (38～42)	出穂前18日 (10mm)

## 5. 倒伏軽減剤について

昨年は長梅雨・曇天等から徒長し易い条件となりました。コシヒカリは、幼穂形成期頃の茎数が過剰となったり、草丈が75 cmを超えると倒伏が心配されます。稲の生育状態に合わせて、倒伏軽減剤の散布を検討してください。また、大豆等からの復元田や倒伏の常発田においては倒伏軽減剤の散布をするようにしましょう。

表3. 倒伏軽減剤の使用時期と目安

薬剤名及び 使用時期	効果 発現場所	7月15日頃 出穂の場合	7月25日頃 出穂の場合	10a 当たり 使用量
ロミカ粒剤 (出穂 25~10 日前)	上位 (2~3 節)	6月20日 ~7月5日	6月30日 ~7月15日	2~3 kg
スマレクト粒剤 (出穂 20~7 日前)	上位 (2~3 節)	6月25日 ~7月8日	7月5日 ~7月18日	2~3 kg
ビビフルフロアブル (出穂 10~2 日前)	上位 (1~2 節)	7月5日~13日	7月15日~23日	1000 倍液の 100 ㍓散布 (散布ムラに注意)

## 6. イネクロカメムシ対策について

イネクロカメムシは斑点米カメムシ類と異なり、主に株元に寄生しイネの茎葉を吸汁します。県南から近年、県中央部でも見られ、発生が拡大しています。

加害されると葉先は黄変、捻転し、草丈は伸びず分けつが抑制されます。成虫は光沢のない黒色で体長8~10ミリ、防除は箱処理剤または本田防除（6月下旬）で対応します。



被害葉と成虫

表4. イネクロカメムシ対策の主な本田防除薬剤

対象害虫	薬剤名	使用量(10a)	使用時期	使用回数	備考
カメムシ類	キラップ粒剤	3 kg	収穫 14 日前	2 回以内	湛水散布
	MR. ジョーカー粉剤DL	3~4 kg	収穫 7 日前	2 回以内	
	エルサン粉剤2	4 kg	収穫 7 日前	2 回以内	

作成者：古内

# 園芸野菜 病害虫防除情報

## 1 はじめに

今後は降雨・日照時間は平年並みですが、気温はやや高めの予報です。気象の急な変化に注意し、特に施設栽培では高温対策の換気と遮光が遅れないようにしましょう。また梅雨入りし降雨が増えてくると、害虫だけでなく病害の発生も懸念されます。防除が遅れると結果的に多発につながりますので、早めの防除をお願いします。

## 2 ネギ[ネギアザミウマ]

- (1) 有効な薬剤系統が少なくなっています。下表の効果的な散布剤を中心に、ローテーション散布を行いましょう。
- (2) 朝、夕は株元付近にいて日中葉上に移動します。早朝、夕方の散布時は株元まで薬剤がかかるよう注意し防除しましょう。
- (3) ネオニコチノイド系薬剤（スタークル・ベストガード等）は定植時の粒剤使用を中心とし、ハモグリバエとの同時防除として使用しましょう。



### ○ネギ ネギアザミウマ 防除薬剤

対象病害	薬剤系統	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ネギアザミウマ (アザミウマ類)	ネオニコチノイド系	ベストガード粒剤	6kg/10a	定植時	1回
		スタークル顆粒水溶剤	50倍/0.5ℓ/ 1ℓ/ℓ	定植前日～ 定植時	1回
	ジアミド系	ベリマークSC	400倍/0.5ℓ/ 1ℓ/ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1回
	マクロライド系	アグリメック	500～1000倍	3日前まで	3回
		アニキ乳剤	1000倍	3日前まで	3回
	スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	2500～5000倍	3日前まで	3回
ディアナSC		2500～5000倍	前日まで	2回	

## 3 トマト [コナジラミ類・アザミウマ類・葉かび病]

### (1) コナジラミ類

県内ではオンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生します。葉のすす汚れに加え、タバココナジラミはトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介する恐れがあります。両種が混在して発生しますが、多発するとどちらか一方に偏るケースも見られます。また昨年の一部の地域でトマト黄化葉巻病が多発生しましたので注意しましょう。

### (2) アザミウマ類

トマトでは葉の食害や果実に白ぶくれ症状に加え、トマト黄化えそウイルス（TSWV）、キク茎えそウイルス（CSNV）を媒介する恐れがあります。県内ではミカンキイロ、ヒラズハナアザミウマが主に発生します。ミカンキイロは葉裏、ヒラズハナは花（果実）へ寄生することが多いです。有効な薬剤が少ないため、同じ系統の薬剤の連用・多用は避け、ローテーション防除を行ってください。

○トマト コナジラミ類☐・アザミウマ類☑防除薬剤マルハナ影響日数に注意※下記に記載

コ	ア	薬剤系統	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
○		マクロライド系	6	アフーム乳剤	2000	収穫前日	5回以内
○	○			アグリメック	500~1000		3回以内
○	○	ネオニコチノイド系	4A	ベストガード水溶剤	1000~2000		3回以内
○	○	スピノサド系	5	ディアナSC	2500		2回以内
○	○	ジアミド系	28	ベネビアOD※1	2000		3回以内
○		その他①	9B	コルト顆粒水和	4000		3回以内
○		その他②	4C	トランスフォームフロアブル	1000~2000		2回以内
※2	○	その他③	UN	ファインセーブフロアブル	1000~2000	3回以内	

※1 薬害回避のためアミスターなどのQoI剤と混用、近接散布を避ける ※2 タバココナジラミのみ  
 <マルハナバチ影響日数>

アフーム乳剤：2日      **アグリメック：7~14日**      **ベストガード水溶剤：10日以上**  
 ディアナSC：1~3日      ベネビアOD：1日      コルト顆粒水和剤：3~7日  
 トランスフォームフロアブル：2~5日      ファインセーブフロアブル：1日

(3) 葉かび病 (すすかび病防除も兼ねる)

感染から発病まで14日以上かかる病害ですので、現在発病している葉の上まで感染している恐れがあります。すでに発生が見られる場合は下記治療剤を加えた防除ローテーションを行いましょう (ハウスでは日中の高温を避けて散布しましょう)。

○トマト 葉かび病 防除薬剤

対象 病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
葉かび病	M5	ダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回以内	予防
	M7	ベルコートフロアブル	2000~4000倍	収穫前日	3回以内	予防
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000~3000倍	収穫前日	3回以内	予防・治療
		アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日	4回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1000~1500倍	収穫前日	5回以内	予防・治療

4 サトイモ [疫病]

6月以降の長雨後 (25℃以上、降雨続き) に増加する傾向がありますので、下記薬剤による防除を実施しましょう。サトイモは農薬が付着しにくいので展着剤も加用しましょう (野菜類・いも類登録があるもの：ハイテンパワー等)

○サトイモ 疫病 防除剤

薬剤系統	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	特徴
QoI剤	11	アミスター20フロアブル	2000	収穫14日前	3回	予防・治療
—	21	ダイナモ顆粒水和剤	2000	収穫21日前	3回	予防・治療
	27					

作成：名雪

# 果樹(ナシ) 病害虫防除情報

J A全農ちば  
営農支援部

## 1 はじめに

今年は開花初期から降雨があり、早々に黒星病の感染条件が揃いました。4月中下旬から葉柄や果実の軸への被害事例が見られております。黒星病は感染～発病まで約14日であるため、開花初期から感染していたことが懸念されます。

今後の長期予報では、降雨は平年並、梅雨入りは6月上旬ごろとされております。降雨のたびに黒星病拡大のリスクは続くと想定されますので、防除タイミングを逃さないようご注意ください。

一方で、カイガラムシ類、ハマキ・シンクイムシ類の発生時期となりますので、これらの発生にも注意が必要です。

## 2 病害防除（黒星病）



### 【6月】黒星病 防除薬剤(輪紋病防除を含む)

6月上旬 : ベルクートフロアブル 1500倍 (収穫14日前/5回以内)

6月中旬 : フロンサイドSC 2000倍 (収穫30日前/散布1回)

6月下旬(新梢停止直後): ストロビードライフフロアブル【QoI剤(ストロビル系)】

2000倍(収穫前日まで/3回以内)

+ オーソサイド水和剤80 1000倍 (収穫3日前/9回以内)

時期の目安に注意。果実肥大期に防除することが狙いです

黒星病対策が必要な場合は臨機でオーソサイド水和剤・ベルコートフロアブル散布(回数注意)。また、治療剤を使用する場合も、これら薬剤を耐性菌対策のため必ず追加します。

### 【7月】黒星病、防除薬剤(輪紋病防除を含む)

7月上旬 : インダーフロアブル【DMI(EBI)剤】 10,000倍(収穫7日前/3回)

+ ベルクートフロアブル 1,500倍(収穫14日前/5回)

7月中旬 : フルーツセイバー【SDHI剤】 1,500倍(収穫前日/3回)

+ オーソサイド水和剤80 1,000倍(収穫3日前/9回)

※輪紋病多発園ではフルーツセイバーの代わりにパレードフロアブル15 2,000倍(収穫前日/2回)(SDHI剤)でもよい。

収穫期 : トップジンM水和剤(輪紋病対策) 1,500倍(収穫前日/6回)

オーソサイド水和剤80は果実に薬剤汚れが発生する可能性があるため、対策が必要な場合、展着剤まくぴか10,000倍を加用しましょう。泡立ち防止のため最後に加えましょう。

●梅雨期の散布タイミングに注意

梅雨期は散布タイミングを逃しやすい時期です。天気予報に注意し、散布作業ができる日を逃さないようにしましょう。

●殺菌剤散布時期と降雨

薬剤の残効が切れた後に降雨を受けないような防除が理想です。残効の目安は約10～14日です。降雨が続いている場合は薬剤が流されやすく、病害も感染しやすくなるのでさらに薬剤散布間隔を短めに意識します。残効目安ごろの降雨前に、次の薬剤散布を実施してください。また、防除効果を安定させるために次の点にも注意してください。

- ①発病した果そう基部、葉、果実は2次伝染源となるため、圃場外に持ち出し処分してください。
- ②薬剤散布を行うにあたっては、薬剤が十分にかかるように十分な散布水量で散布してください（目安2500/10a）。散布量が少ないと防除効果にムラが出てしまいます。

### 3 ハダニ類

今後梅雨が明けさらに気温が高い日が続くと（30℃以上）、10日で一世代がかわる早さで増加を始めます。梅雨～梅雨明け直前ごろからのカネマイト・ダニゲッターによる防除が基本ですが、園内の発生状況を確認し、必要に応じて時期を早める必要があります。

○ハダニ類防除剤

時期	薬剤名	主な効果	登録内容
6月下旬	カネマイトフロアブル	殺成虫・牝ダニ対策	1000倍・収穫前日・1回
7月上旬	ダニゲッターフロアブル	殺卵	2000倍・収穫前日・1回
7月中頃	ダニコングフロアブル	殺成虫	2000倍・収穫前日・1回

### 4 カイガラムシ類対策

薬剤が効くのは主に幼虫の時期ですので、各種の産卵時期が重なる6月の防除が重要です。散布のかけムラによる効果不足が発生しやすいので、枝の上側・園外周など薬剤が直接かからない場所に発生がみられる場合には、直接散布することも必要です。



ナシマルカイガラムシによる被害果

○カイガラムシ類 防除剤

時期	薬剤	登録内容
6月上旬	ダースバンDF	3000倍・収穫30日前・3回
6月上旬～中旬 (臨機)	コルト顆粒水和剤★	3000倍・前日・3回
	トランスフォームフロアブル★	2000倍・前日・3回
6月下旬	スプラサイド水和剤	1500倍・収穫21日前(無袋)・2回
		〃 ・収穫7日前(有袋)・3回

★どちらか選択

主にコルトはチャノキイロアザミウマ、トランスフォームはアブラムシ類対策。またどちらもカイガラムシ類対策も兼ねる。

作成：名雪

# 令和2年度12月～1月収穫向け 寒玉キャベツ品種比較試験結果 (試験結果のご紹介)

令和3年6月

J A全農ちば

## 1. 加工・業務用野菜は需要が増加しています。

外食・中食利用が進み、野菜においても加工・業務用需要が増加しています。主要野菜（ばれいしょを除く指定野菜13品目）全体の2015年度の加工・業務用需要の割合は57%（農林政策研究所推計）となっており、用途が加工原料（カット・冷凍）や外食・中食用食材として利用される割合が増加しています。

## 2. 加工・業務用に向けたキャベツは、「固く良く締まったモノ」。

キャベツではカットした際に型崩れしにくく、作業がしやすいキャベツが好適とされ、固く良く締まった寒玉系キャベツが使われます。今回は令和2年度に品種比較した結果を記載します。

## 3. 結果 12月～1月収穫向け品種比較結果

試験結果を表1～7に記載します。収量については以下のとおりです。

収量8t/10a以上は、「YCR-こんごう」と「THY-105」  
 収量7t/10a以上は、「THY-104」、「YR初陣」、「夢いぶき」  
 となり、いずれの品種も球の締まりの目安となる $0.5\text{g}/\text{cm}^3$ 以上となりました。  
 各品種の特徴については以下のとおりです。

収量7t/10a以上となった品種の特徴について

### (1) YCR-こんごう（日本農林社）

定植後80～85日前後で収穫可能な中生種だが、今回は88日～112日で収穫となった。

栽培期間中の草勢が強く、栽培しやすい品種であった。玉伸びも良好で重量感があり、在圃性のあるものの、品種で芯長はほかの品種よりも伸びた。裂球は遅いように感じた。11月～12月の年内どりでおすすめ。

### (2) THY-105

定植後65日前後で収穫できる早生種だが、今回は88日～117日で収穫となった。草勢は中程度であるが、YCRこんごうに迫る球肥大性を持つ品種。11月～12月どりでおすすめ。

### (3) THY-104

定植後65日前後で収穫できる早生種だが、今回は、88日～117日で収穫となった。YCRこんごうほどではないが、草勢は強く、肥大は良好。ほかの品種と比較しても球の形状は安定している印象。11月～12月の年内どりにおすすめ。

### (4) 初陣

定植後65日前後で収穫となる早生種だが、今回は定植後88日～112日で収穫となった。

暑さに強く、湿害に強い品種のため、7月播種や水田転換畑などでも栽培可能。球の揃いがよく、5,000株/10a等の密植でも良好な生育となる。11月～12月どりにおすすめ。

(5) 夢いぶき

今回の収穫では、定植後112日～143日となった中生種。葉は厚く、アントシアンが発生が少なかった。収穫期間中ほかの品種と比較して、芯長が短く、在圃性に優れていた。12月～1月どりにおすすめ。

表1 令和2年11月24日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
YR初陣	1,310	0.60	6.7	3.4	5,926
YCRこんごう	1,750	0.59	7.2	3.8	7,917
THY-104	1,610	0.61	6.6	3.7	7,283
THY-105	1,530	0.58	6.2	3.7	6,921

表2 令和2年12月1日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
YR初陣	1,624	0.63	7.2	3.4	7,347
万代	1,510	0.57	6.5	3.8	6,831
YCRこんごう	1,812	0.58	7.3	3.8	8,197
THY-104	1,760	0.64	7.0	3.5	7,962
THY-105	1,730	0.62	6.9	3.5	7,826
SK3-326	1,398	0.47	5.5	3.9	6,324

表3 令和2年12月9日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
YR初陣	1,476	0.64	7.1	2.8	6,677
万代	1,312	0.52	5.9	3.3	5,935
YCRこんごう	1,604	0.59	7.0	3.2	7,256
冬藍	1,540	0.58	6.2	3.4	6,967
冬系531	1,434	0.54	6.0	3.4	6,487
THY-104	1,608	0.61	6.4	3.2	7,274
THY-105	1,942	0.62	7.2	3.3	8,785
SK3-326	1,408	0.50	5.7	3.4	6,370

表4 令和2年12月18日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
夢ごろも	1,345	0.46	6.9	4.0	6,085
夢いぶき	1,574	0.54	5.9	3.1	7,121
YR初陣	1,584	0.64	7.2	2.9	7,166
万代	1,248	0.59	5.9	3.3	5,646
YCRこんごう	2,170	0.63	7.5	3.5	9,817

冬藍	1,438	0.57	6.4	3.5	6,505
冬系531	1,286	0.55	5.9	3.3	5,818
SK3-326	1,376	0.51	5.8	3.4	6,225

表5 令和2年12月23日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
彩音	1,367	0.54	5.1	3.3	6,183
夢ごろも	1,251	0.45	6.3	3.2	5,661
夢いぶき	1,152	0.47	6.1	2.8	5,211
冬藍	1,426	0.53	6.2	3.3	6,451
冬系531	1,212	0.51	5.9	3.2	5,483
THY-104	1,532	0.64	7.0	3.0	6,931
THY-105	1,834	0.64	7.2	3.1	8,297
SK3-326	1,358	0.51	5.9	3.4	6,143
夢舞妓	1,160	0.42	7.1	2.7	5,248

表6 令和3年1月4日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
夢ごろも	1,130	0.47	6.6	3.0	4,090
夢いぶき	1,446	0.55	5.9	2.8	6,541
万代	1,230	0.51	6.2	3.2	5,564

表7 令和3年1月18日調査結果

品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm <sup>3</sup> )	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (kg/10a)
夢ごろも	1,217	0.47	6.8	3.1	3,854
夢いぶき	1,416	0.52	6.2	3.0	6,406
夢舞妓	1,280	0.43	6.8	2.7	5,791

注) 数値は10球あたりの平均値

注) 結球緊度は結球重(g) / 結球体積(cm<sup>3</sup>)とし、結球体積は4/3π × (球幅/2) × (球高/2) で求めた。なお、結球緊度の目安は0.5g/cm<sup>3</sup>

注) 収量は栽植密度(4,762株/10a) × 収穫株率(%) / 100 × 結球重(g) / 1000

※耕種概要 元肥：N:P:K=23.8:22.4:15.4 播種日：播種日：7月29日・

8月5日 定植日：8月28日 栽植：畝間60cm、株間35cm 4,762株/10a

作成：卜部

# 農業経営のリスクを減らしましょう

## ☆食中毒に気を付けましょう☆

J A全農ちば  
営農支援部

### 1 食中毒対策について

夏に向けて気温が高くなると微生物が増殖しやすくなります。特に病原性大腸菌（O157(腸管出血性大腸菌)）等による食中毒に注意が必要となります。消費者へ安全な農畜産物をお届けする為に、石鹼を使用した手洗いを徹底しましょう。

手洗いチェッカーを使って  
手洗い前後の手を調べました！

### 2. 石鹼を使って手洗いをしましょう！

- (1)手洗い前(農作業後)の手を調べてみると、洗い残しの汚れが青白く光ります。
- (2)水洗いのみの場合、まだ手は青白く光り洗い残しが確認出来ます。
- (3)石鹼を使用した手洗いの場合、青白い光がほぼ見られず洗い残しがほぼありません。

(1)手洗い前

(2)水洗いのみ

(3)石鹼使用手洗い



※画像は濃淡がわかりやすいよう、全て同じように明度を調整しています。

### 3. 家畜ふん堆肥は完熟たい肥を使用しましょう！

堆肥が未熟なままだと病原性大腸菌等が残っている可能性が高まります。堆肥は作物や作業者に触れる場合があるため、適切に完熟化した堆肥を使用しましょう。

#### 適切な家畜ふん堆肥管理

- (1) 被覆等を行い、堆肥表面温度を55℃程度かつ数日間以上保つ。
- (2) 切り返しを行い、堆積物全体の温度が上がるようにする。
- (3) 堆肥を出荷調整場へ持ち込まないように、場所に合わせて履物を履き替える。

日頃からの小さな衛生管理が  
産地の食の安心・安全を守ります！

作成者：名雪・田代

営農情報（6月号）

天敵の新しい規格です。

イチゴのハダニ防除の

ミヤコバンカー

50パック/箱が新登場！

100パック/箱  
50パック/箱  
からお選びいただけます。  
使用目安：100パック/10a



<50パック規格の外箱>

※下写真) 左：100パック/箱、右：50パック/箱



[50パック規格の構成物]

- ・バンカーシート本体・・・50枚
- ・黒フェルト（産卵基質）・・・50枚
- ・保水資材・・・1袋
- ・天敵パック製剤・・・50パック（システムミヤコくん）

# ミヤコバンカー<sup>®</sup>とは…



ミヤコカブリダニを用いた設置型の天敵資材。

耐水性の紙製シート（資材名「バンカーシート<sup>®</sup>」）にミヤコカブリダニパック製剤（製剤名「システムミヤコくん<sup>®</sup>」）のほか、産卵基質、保湿資材を入れることで、シート内に天敵の生存に最適な環境を作り、圃場へと天敵を放出します。

より多くの天敵を圃場へ放出、また耐水性シートにより散水、薬散の天敵への影響を軽減することで、より安定した天敵の防除効果が期待できます。

## 導入～効果発揮の流れ



10月下旬～11月上旬頃  
マルチ展張後ミヤコバンカー設置



葉上に放出された  
ミヤコカブリダニ



定着したカブリダニが  
春に向けて活躍

※影響表を参考に設置前に  
必ず事前防除を行ってください

天敵への薬剤影響に注意しながら  
防除薬剤を選定してください。

## 導入事例のご紹介

天敵は抵抗性を獲得し、薬剤が効きにくくなったハダニにも効果を発揮します。

ミヤコバンカーをいちご育苗期・本圃に導入することで、**天敵放飼後のハダニ防除の回数が軽減、省力化につながった**事例もございます。

試験地	使用ステージ	ミヤコバンカー導入区 におけるハダニ防除回数	化学農薬区 におけるハダニ防除回数	天敵導入による ハダニ防除回数の軽減
事例① (千葉、2016)	育苗期	0回	3回	3回
	本圃	1回	3回	2回
事例② (千葉、2016)	本圃	4回	6回	2回

※ミヤコバンカー導入区ではチリカブリダニ（ボトル剤）を併用しています。

### ☆ミヤコバンカーで天敵の効果を有効に発揮

ハダニ防除に困らないイチゴ作りを目指しましょう！

- ・2015年～2020年千葉県内いちご技術実証圃有効事例は以下の通りです。
- ・総件数：11JA、育苗期13件、本圃27件 計40件、・調査法：5地点、1地点（10株連続、1複葉害虫密度頭数、寄生株率）
- ・評価：寄生密度（AVERAGE頭数）◎(0.1～0.5以下)、○(0.5～3.0以下)、△(3.0～10.0以下)、×(10.0以上)、- (中止)
- ・有効事例：37件 ◎～○：92.5%。

農作業安全 草刈り機使用時、ゴーグル着用・周囲安全確認！ 食の安全安心 土壌消毒剤使用時は必ず被覆を行う

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば